

2025年2月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月10日

上場会社名 株式会社クリーマ 上場取引所 東

コード番号

4017

URL https://www.creema.co.jp/

代表者

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸林 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名)

執行役員 コーポレート

- ハレ (氏名) 伊藤 彩紀 TEL 03(6447)0105 ディビジョンGM

半期報告書提出予定日

2024年10月10日

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無

: 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2024年3月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年2月期中間期	1, 248	0. 7	16	241.8	16	△37. 1	33	163.0	
2024年2月期中間期	1, 239	5. 9	4	_	25	_	12	-	

(注)包括利益 2025年2月期中間期

33百万円 (162.7%)

2024年2月期中間期

12百万円 (一%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円 銭	円 銭	
2025年2月期中間期	5. 00	4. 98	
2024年2月期中間期	1. 90	1. 87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
2025年2月期中間期	3, 246	1, 034	31.9	
2024年2月期	3, 588	1,000	27. 9	

(参考) 自己資本

2025年2月期中間期

1,034百万円

2024年2月期

999百万円

2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	期末	合計						
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2024年2月期	_	0.00	_	0.00	0.00				
2025年2月期	_	0.00							
2025年2月期 (予想)			ı	ı	_				

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無
 - 2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点において、2025年2月期の配当予想額は未 定であります。

3. 2025年2月期の連結業績予想 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	台	営業利益		経常和	経常利益		Eに帰属 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	2, 712	8. 1	121	192. 9	124	80. 5	91	15. 2	13. 54

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無
 - 2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年2月29日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無② ①以外の会計方針の変更 :無③ 会計上の見積りの変更 :無④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年2月期中間期	6, 735, 100株	2024年2月期	6, 733, 100株
2025年2月期中間期	43株	2024年2月期	43株
2025年2月期中間期	6, 734, 410株	2024年2月期中間期	6, 723, 834株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年10月10日(木)にSBI証券のウェブサイトで機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会をライブ配信で開催し、決算補足説明資料を当社のウェブサイトに公開します。

また、決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

○添付資料の目次

1.	当中	7間決算に関する定性的情報
	(1)	経営成績に関する説明
	(2)	財政状態に関する説明
	(3)	連結業績予想等の将来予測情報に関する説明
2.	中間]連結財務諸表及び主な注記
	(1)	中間連結貸借対照表
	(2)	中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
		中間連結損益計算書
		中間連結会計期間
		中間連結包括利益計算書(
		中間連結会計期間
	(3)	中間連結キャッシュ・フロー計算書
	(4)	中間連結財務諸表に関する注記事項
		(継続企業の前提に関する注記)
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
		(セグメント情報等の注記)

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、「まるくて大きな時代をつくろう」を企業理念に、その実現に向けた第一弾の事業として、クリエイターエンパワーメント事業を推進しております。

日本ならびに中国語圏におけるグローバルハンドメイドマーケットプレイス「Creema (クリーマ)」に加え、「Creema」と連携可能な唯一のネットショップ開設サービス「InFRAME」の運営を行うマーケットプレイスサービス、「Creema」のプラットフォームを活用し、出店クリエイター・企業・地方公共団体のマーケティング支援を行うプラットフォームサービス、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes'(東京ビッグサイト)」等の大型イベントを展開するイベントサービス、さらには、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」、人気アーティストのレッスン動画プラットフォーム「FANTIST」等、クリエイターの活動を支援するサービスを様々な角度から展開し、まだ見ぬ巨大なクリーマ経済圏の確立と、クラフトカルチャーの醸成に力を注いでおります。

マーケットプレイスサービスにおいては、母の日や初夏の需要等、季節のトレンドを捉えた各種マーチャンダイジング・キャンペーン施策を展開する等、クリエイター作品の魅力を訴求する様々な企画を実施しました。また、作品詳細画面やカート画面のリニューアルをはじめとする「Creema」のユーザーインターフェースの改善や、インフラ基盤の強化等、プロダクト面においても多面的な強化を推進しました。一方で、前期3月にかけて実施したTVCM効果の反動に加え、市場全体でWeb広告の単価が大幅に高騰した関係で、当社の広告効率が前年比で大きく悪化しました。また、当社のドメインを無断で使用して、当社以外の企業や官公庁を装い、フィッシング詐欺目的で送信される「なりすましメール」が横行したため、迅速な問題解決に向けて各種対応に取り組んだ結果、相応の対応リソースが本件にとられることになりました。その結果、マーケットプレイスサービスの流通総額は76.4億円(前年同期比93%)、売上高は749,963千円(前年同期比92%)で着地し、前年実績を下回る結果となりました。今後当社では、先述したWeb広告の単価高騰問題に対処するため、広告戦略・広告支出のバランスを見直すとともに、不正に送信されている「なりすましメール」の問題につきましては、現時点で一通りの対応を終えたものの、警察を含め、然るべき機関や関連団体と連携しながら、引き続き状況を注視して参ります。なお、当中間連結会計期間におけるクリエイター数は約29万人、登録作品数は約1,878万点、スマートフォンアプリのダウンロード数は約1,514万回を突破しており、KPIの数字については順調に積みあがっております。

プラットフォームサービスにおいては、「Creema」のプラットフォームならびにユーザー基盤を活用した企業・地方公共団体向けのPR支援を行う外部広告サービスにて、大手商業施設とコラボレーションしたクラフトイベントの開催や、地方自治体と連携した伝統工芸品・地域産品の販路開拓支援プロジェクト等、当社にしかできない様々なPR企画をクライアントに対し提案・実現してきました。また、クリエイターが自身の作品を「Creema」上でプロモーションできる内部広告サービスでは、広告サービスの利用者数を増加させるべく、プロダクトの改善とその普及に努めました。その結果、プラットフォームサービスの売上高は328,959千円(前年同期比104%)での着地となっております。

イベントサービスにおいては、2024年3月16日・17日に、自然の中で音楽とカルチャーを体感する野外フェス「Creema YAMABIKO FES 2024」を開催。2024年7月20日・21日には、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes 2024」を開催し、いずれのイベントも多くの来場者の方々にご参加いただきました。その結果、売上高は108,345千円(前年同期比149%)で着地いたしました。

当社グループの中長期的な成長を企図し、戦略的な先行投資を拡大している新サービス群では、クリエイターやものづくり事業者の創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」において、引き続き多様なプロジェクトが起案され、その多くが目標支援金額を達成しております。また、クリエイターがレッスン動画を販売する動画プラットフォーム「FANTIST」においては、クリエイターが製作・販売するレッスン動画に加え、FANTISTのオリジナルコンテンツである「FANTIST公式コースレッスン」の数も順調に成長し、レッスン動画数は同領域において日本最大級の規模にまで拡大しております。その結果、売上高は60,828千円(前年同期比179%)と大幅な成長を実現しました。これら全てのサービスを連携させることにより、ユーザー価値の最大化を図ると同時に、当社グループのサービスの認知度向上及び市場の拡大、クリーマ経済圏の確立に取り組んで参りました。

結果として、当中間連結会計期間における全社業績は、売上高が前年同期比101%となる1,248,142千円、営業利益が前年同期比342%となる16,200千円で着地し、売上高・営業利益ともに前年比で成長しております。一方で、経常利益は前年同期比63%となる16,131千円となりましたが、これは前年同時期にイベント関連の補助金収入が計上されていたことによるものです。親会社株主に帰属する中間純利益は、直近の事業計画を踏まえ、繰延税金資産を計上した関係で、前年同期比263%となる33,656千円での着地となっています。

なお、当社グループでは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に 関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、3,246,044千円となり、前連結会計年度末に比べ342,082千円減少いたしました。主な増減要因は、現金及び預金が320,447千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、2,211,234千円となり、前連結会計年度末に比べ376,566千円減少いたしました。主な増減要因は、預り金が196,192千円、長期借入金(1年内返済予定長期借入金を含む)が109,894千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、1,034,810千円となり、前連結会計年度末に比べ34,484千円増加いたしました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する中間純利益33,656千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ320,447千円減少し、2,311,780千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、186,885千円(前年同期は58,919千円の使用)となりました。これは主に、預り金の減少195,150千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、23,149千円(前年同期は4,984千円の獲得)となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出22,438千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、109,268千円(前年同期は269,494千円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出109,894千円によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想については、2024年4月11日の「2024年2月期 決算短信」で公表いたしました連結 業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 632, 228	2, 311, 780
売掛金	648, 510	591, 353
その他	16, 159	29, 599
流動資産合計	3, 296, 897	2, 932, 733
固定資産		
有形固定資産	21, 517	20, 677
無形固定資産		
その他	112, 671	94, 877
無形固定資産合計	112, 671	94, 877
投資その他の資産	157, 040	197, 755
固定資産合計	291, 229	313, 311
資産合計	3, 588, 127	3, 246, 044
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	192, 276	153, 864
未払金	124, 409	116, 640
未払費用	67, 387	74, 911
未払法人税等	44, 728	11, 380
前受金	77, 775	50, 769
預り金	1, 638, 614	1, 442, 422
ポイント引当金	12, 153	12, 225
その他	104, 948	94, 995
流動負債合計	2, 262, 294	1, 957, 210
固定負債		
長期借入金	325, 506	254, 024
固定負債合計	325, 506	254, 024
負債合計	2, 587, 800	2, 211, 234
純資産の部		
株主資本		
資本金	540, 490	540, 803
資本剰余金	1, 961, 610	1, 961, 923
利益剰余金	$\triangle 1,501,742$	$\triangle 1,468,085$
自己株式	△228	△228
株主資本合計	1, 000, 131	1, 034, 413
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△457	△255
その他の包括利益累計額合計	△457	△255
新株予約権	652	652
純資産合計	1, 000, 326	1, 034, 810
負債純資産合計	3, 588, 127	3, 246, 044
2 12 11 22 A A A A A		0, 210, 011

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(<u>単位</u>:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)
売上高	1, 239, 342	1, 248, 142
売上原価	258, 721	294, 822
売上総利益	980, 620	953, 320
販売費及び一般管理費	975, 881	937, 120
営業利益	4, 738	16, 200
営業外収益		
受取利息	131	397
為替差益	230	_
預り金精算益	2, 424	3,072
補助金収入	19, 226	_
その他	2, 492	57
営業外収益合計	24, 505	3, 527
営業外費用		
支払利息	3, 579	2,670
為替差損	_	921
その他		3
営業外費用合計	3, 579	3, 595
経常利益	25, 665	16, 131
税金等調整前中間純利益	25, 665	16, 131
法人税、住民税及び事業税	12, 870	1,619
法人税等調整額	_	△19, 143
法人税等合計	12, 870	△17, 524
中間純利益	12, 794	33, 656
親会社株主に帰属する中間純利益	12, 794	33, 656

(中間連結包括利益計算書) (中間連結会計期間)

(中間連結会計期間)		
		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	12, 794	33, 656
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	94	201
その他の包括利益合計	94	201
中間包括利益	12, 889	33, 858
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	12, 889	33, 858
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	25, 665	16, 131
減価償却費	19, 459	19, 344
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△12, 228	71
受取利息	△131	△397
支払利息	3, 579	2,670
補助金収入	△19, 226	_
売上債権の増減額 (△は増加)	83, 276	57, 156
未収消費税等の増減額(△は増加)	39, 904	_
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5, 936	△13, 488
未払金の増減額(△は減少)	△98, 969	△7, 786
預り金の増減額 (△は減少)	△178, 205	△195, 150
前受金の増減額 (△は減少)	△20, 617	△27, 006
未払消費税等の増減額(△は減少)	_	△10, 801
その他の流動負債の増減額(△は減少)	55, 007	40
その他	866	866
小計	△95 , 683	△158, 348
利息の受取額	131	397
利息の支払額	$\triangle 3,732$	△2, 624
補助金の受取額	19, 226	
法人税等の支払額	△4, 962	△26, 311
法人税等の還付額	26, 100	<u> </u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58, 919	△186, 885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	_	△711
敷金及び保証金の差入による支出	_	△22, 438
敷金及び保証金の回収による収入	4, 984	_
投資活動によるキャッシュ・フロー	4, 984	△23, 149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400, 000	
長期借入金の返済による支出	△131, 818	△109, 894
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1, 312	626
財務活動によるキャッシュ・フロー	269, 494	△109, 268
現金及び現金同等物に係る換算差額	988	△1,144
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	216, 547	△320, 447
現金及び現金同等物の期首残高	2, 374, 843	2, 632, 228
現金及び現金同等物の中間期末残高	2, 591, 390	2, 311, 780
2 2 - 2 1 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4	2,001,000	2, 011, 100

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日) 当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日) 当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。